

願い事 天の川に

天竜・旧田代家住宅に文化芸大生

浜松市天竜区二俣町鹿島の国登録有形文化財「旧田代家住宅」で12日、静岡文化芸術大の学生による七夕飾りの展示が始まった。13日までは地元の天竜高の生徒とともにイベントを企画用意し、来場者を迎える。展示は8月31日まで。

同住宅は天竜川のいかに取次業の商家が1859年に建てた。深みのある茶色の柱と梁が重なる頭上空間を夜空に見立て、天の川をイメージした七夕飾りをつるした。地元の児童生徒が寄せた願い事の短冊300枚が室内を彩る。

新妻淳子准教授（日本建築史）が教える演習の受講生による活動で、今年で3年目。学生4人が建物と地域の特徴を学び、魅力を引き立てる企画を考えてきた。13日までのイベントでは、建物を観察して答えを探すクイズラリーがあるほか、天竜高生はシャボン玉など夏祭りらしいワークショップを用意している。

1年の大林里緒さん(19)は「ケヤキの大黒柱に視線が向かうように飾り付けを工夫した。七夕の雰囲気を楽しみつつ、建物や庭園の温かみを感じてほしい」と話している。開館時間は土・日曜日と祝日の午前10時～午後4時。旧田代家住宅＝053(925)7006（開館日のみ）

（野瀬井寛）



カラフルな短冊で室内を飾り付けた静岡文化芸術大の学生たち。浜松市天竜区二俣町鹿島で